

各主体について思うこと まとめ

① 市民・基礎的コミュニティ

子育て世代

町内会の高齢化
若い世代余裕なし
→担い手がなくなる

※1
・不公平感
・損したくない
・押し付けられたくない
イメージが悪い
町内会に所属している意識がない

※2

・基礎的コミュニティから享受していること(具体的事例)を正確に周知する。
・「脱なんとなく知っている」
・ボランティアの醸成

地域コミュニティの必要性
防災・環境・福祉

※3

今の担い手

町内会の高齢化と役員選出方法

高齢化により、役員の負担が大きい

元気な高齢者
↓
やる気のない高齢者

町内会の高齢化で掃除等が困難であるが、ここを情報交換の場ともできると思う。

結果として

会を離脱する人やその団体自身の存続が危うい

役員にならないと顔を合わす場所がない。
役員会以外にぎくばらんに話し合う場が少ない。

※4

交流だけでも...!
(仕事は委託)

・全てのボランティアに必要な対価を支払う。
・コストはコミュニティから回収し、様々なかわり方をつくる。

・防災等でカメラの設置が個人情報関係でうまくいかない
・災害等で家庭状況、子ども、老人等把握があった方がいいが、個人情報関係でうまくいかない。

※5

地域サロンは町内会より広い高齢者の憩いの場であり、学びの場であるので、これを発展させてほしい。

地域サロンに向いて元気な高齢者に出会い、元気をもらおう。

助け合い
→迷惑をかけること

地域コミュニティの若者はなれ流し

② まちづくり協議会 市民公益活動団体

まち協って何?!

・まちづくり協議会の催し等がわかりにくい
・場所としてまち協を利用している感じになり、まち協と市民とのかわりが少ない

※6

町内会以上にメリットの説明が難しい

まち協って何してるの?

何やってるの?!

老上ハロウィン

※7

私発の想いから、(老上ハロウィン)

手上げ方式に移行中

子育て世代の動き

子ども草津の動いている
若い人が集まる

・Zoom、LINEでの情報共有
Canvaでの編集作業

渋やる会(市民活動)
子ども対象
若い世代が大活躍

LINE、Zoom、Canva

最後は防災か

自治会の在り方
・楽しく
・効率化

・自治会 ICT
・公式LINE
(大学生スマホ講座)

まち協の活動の形骸化?
(個人の繋がり希薄)
基礎的コミュニティとの連携、支援

まち協の継続性は?

失敗事例の共有!

センターの活性化はメリットの一つ

※8

「場」は集まる人を繋ぐ
大切有効

地域内での出合いの場でもある

地域差のギャップを埋めるのが難しい

③ 教育機関

Feel→do!

何をしているのかわからない

※9

・参加している学生は多種多様(主たる目的は正課や課外)
・一部の学生は地域で活動したいと思っているが、何か明確な目的を必ずしも持っているわけではない

中学生が総合学習で地域を活性化

・地域の学校の在り方
・地域連携
・コミュニティスクールは?
・地域協働合校

※10

④ 中間支援組織

コミュニティ事業団

※11

はじめ、何を支援してもらおう?

3か月に1回に助成金の審査会を増やす

活動内容があまり認知されていない。(興味関心、関係ができてはじめて情報収集するため)

中間支援活動の見える化

まちづくりイベントの共同開催ってどこ?

ラウンドテーブル

ラウンドテーブルの参加者の拡大(キラリエサポーター以外)

社協

防災関係は?

高齢者の手助けとして有償ボランティアを市と社協で発展させてほしい

キラリエまつりやその他イベントの告知、広報

⑤ 市

※12

地域として活用できていない

社会資源と協働の見える化

地域に密着する人材必要

子育て世代
LINE
Zoom
Canva
やりたい!

縦割りに加え人が変わる

地域サポート人材(人員)不足

中間支援組織の関わり見えない

市と地域の協働の関係・距離

パブコメ、アンケートの回答デザイン